

- 平成25年度定時総会 -----①
- 平成25年度第1回技術研修会 -----②
- 平成25年度第1回見学会のお知らせ -----②
- 「都民計量のひろば」サブテーマを振り返る--③
- 会員のひろば -----③

一般社団法人計量器コンサルタント協会 平成25年度定時総会開催

当会は、6月12日に平成25年度定時総会をホテルアジュール竹芝で開催した。

会議に先立ち講演会が設定されるのが恒例となっており、今年は一社)日本計量史学会副会長、山田研治氏を招き、幕末の洋学者たちがどのように当時始まったばかりのメートル法による計量・計測の体系を受容していったかという歴史事実の流れについて勉強した。

演題「幕末のメートル法による近世度量衡の生成」－高島流砲術の系譜を中心として－

山田氏は明治大学商学研究科卒、一貫して実業高校の現代化の第一線で活躍してこられ、その間、研究テーマとして日本商業史、とりわけ度量衡の発達史とその社会経済に与える影響に着目、研究を進められ、現在に至っておられます。

定時総会は本人出席24名、議案表決参加欠席者36名 出席数60名で成立。(会員総数108名の1/2以上)

植村会長を議長として進められ、平成24年度事業報告、同収支決算を承認し、平成25年度事業計画および収支予算の報告を受け了承して議事終了。

報告の中で、新しい組織として会員の事業参加レベルによる区分や会費のあり方、(階層化)IT利用による参加会員の充実等、今後引き続き検討していくことが提起された。

平成25年度(一社) 計量器コンサルタント協会定時総会
議事 第1号議案 平成24年度事務事業報告承認
第2号議案 平成24年度収支決算承認

報告事項 平成25年度 事業計画
同 収支予算

平成25年度シニア計コン認定者の発表があり、以下の5名が資格更新者として認定された。

佐藤哲 (株)千尋エンジニアリング
植村実敏 (一社)計量器コンサルタント協会
奥野正典 幸和精機産業(株)
吉川和男 (株)ニューロン
安並 淳 (合)安並化学衡器製作所

西 清志 ウェストゲージ(株)
の6名がシニア計コン資格の更新者と発表された。

総会終了後は恒例の懇親パーティー、大森理事の司会のもと和やかに情報交換のときをすごした。

来賓、東京都計量検定所副所長、千葉理恵子氏、都計協より清宮貞雄会長、同小川弘副会長、東京計量士会、横尾明幸会長、日計振より加藤覚氏の臨席があった。



タイトル「幕末のメートル法による近世度量衡の生成」を講演する、講師の山田研治氏



定時総会の様子



懇親会で挨拶をする、東京計量士会の横尾会長

平成25年度第1回技術研修会 ザルトリウスの「マイクロピペットの液体計量について」

当会は、「平成25年度第1回技術研修会」を5月15日の午後、東京都港区海岸の東京都計量検定所2階の会議室で開いた。

今回は、ザルトリウス・ジャパン株式会社様の協力を得て、「マイクロピペットの液体計量について」と題し、実験・研究室や教育現場、製造現場等で高い頻度で使用されているマイクロピペットについて、その機能、特長から使用方法まで、約1時間半にわたり講演がおこなわれた。

講師には、ザルトリウス・ジャパン株式会社の科学機器事業部技術部係長、リキッドハンドリングサービスリーダー、JCSS品質管理者の中村雅彦氏、同事業部マーケティング部ピペット製品担当、マーケティング・スペシャリストの広島麻子氏、当会会員で同事業部営業部課長兼技術校正事業課長の山本正之氏。

ザルトリウス・ジャパンのマイクロピペット製品をもとに、ピペットの一般的な構造説明と操作法、精度維持のための各種点検方法、ピペッティング（分注作業）のコツなどを講演した。

講演後は、実機を手にしてピペッティングを試したり、疑問点について質問が飛び交っていた。



上:ザルトリウス社のピペット製品例

写真上:講師の中村雅彦氏

写真中、下:講習の様子

平成25年度 第1回見学会のご案内

第1回見学会を下記の通り実施致します。皆様奮ってご参加下さい。

開催日:平成25年7月9日(火)

見学場所:①(地独)東京都立産業技術研究センター
②東京ガス(株)袖ヶ浦工場 LNGプラザ

会費:@2,000円(昼食代は各自負担です)

日程:集合は東京都計量検定所内駐車場です。

08:45 集合(東京都計量検定所内駐車場)

09:00 出発(貸し切りバスにて移動)

09:30 東京都立産業技術研究センター 到着

11:10 袖ヶ浦に向けて出発(アクアライン経由)

12:15 昼食

13:30 東京ガス(株)袖ヶ浦工場 LNGプラザ 到着

15:15 計量検定所に向け 出発

16:30 到着 解散

東京都立産業技術研究センターでは、①分析評価
②繊維③電気計測④試験機⑤機械計測⑥加工機
⑦放射線⑧コンピュータ関連のうち、4~5テーマを見学の予定です。



図:東京都立産業技術研究センターの役割

「都民計量のひろば」 サブテーマを振り返る

毎年、11月1日の計量記念日に開催される「都民計量のひろば」。これは、都民の方々に楽しみながら計量への関心を高めていただくことを目的に開催される行事です。当協会は東京都生活文化局、(一社)東京都計量協会その他関連団体と協力し、「健康と計量」コーナーを設け多くの都民に体験を通して計量に親しんで頂いています。

この「都民計量のひろば」イベントには、毎年違った「サブテーマ」があることをご存知でしたか? 「くらしと計量」と言うメインテーマとは別に、その年毎に違った「サブテーマ」が掲げられているのです。ここで平成3年から昨年までの「サブテーマ」を振り返ってみましょう。

平成 3年度 「計量40年のあゆみ」
平成 4年度 「計量法の改正と私たちの暮らし」
平成 5年度 「世界を結ぶ新計量法」
平成 6年度 「消費者を守る新計量法」
平成 7年度 「計る量るの散歩道」
平成 8年度 「来て見てはかっておもしろひろば」
平成 9年度 「くま・なく遊ぼう計量のひろば」
平成10年度 「ヤドカリだって計っています」
平成11年度 「暮らしにいかそう身近な計量」
平成12年度 「2000年 未来へ伝える 確かな計量」
平成13年度 「計っていますか あなたの健康」
平成14年度 「見つめ直そう 身近な計量」
平成16年度 「はかればみえる 地球の健康 自分の健康」
平成17年度 「健康、環境すべてを守る正しい計量」
平成18年度 「安全・安心 ささえる計量」
平成19年度 「あなたと地球の健康のために」
平成20年度 「地球のエコとみんなの健康」
平成21年度 「はかろう! まもろう! 地球と健康」
平成22年度 「はかろう! つくろう! しらべよう!」
平成23年度 「正しくはかって明るい未来」
平成24年度 「はかって守る! 地球環境」

如何ですか? こうして見てみると、その年毎の世相を反映しているようですね。イベントの内容はもちろんですが「サブテーマ」にも興味がわいてきます。はたして、今年はどうな「サブテーマ」になるのでしょうか? お楽しみに!



写真:賑わう会場の様子(昨年のイベント)



上: 昨年のチラシに使われたイラスト

・会・員・の・広・場・

計量コラム

「有効期限」

私たち計量人が知ってるつもりが? 実は知らなかった。そんな用語を調べてみました。今回は特定計量器の有効期限についての話題です。

計量法では、特定計量器を取引・証明に使用する場合検定等を受け合格したものでなければ使用することが出来ないと定めています。使用する年数が過ぎてしまうと法律で定めた許容範囲を超えてしまうので、それぞれの特定計量器ごとに有効期限を設けています。

特定計量器で身近なものでは、ガスメーター、燃料油メーター、振動レベル計、水道メーター、電力量計等があり、有効期間を満了したものは、修理の上再び検定を受けることが出来るのです。特定計量器の質量計の場合は有効期限はなく、代わりに、2年に1回の定期検査の周期が決められていて、計量法により許容差の可否検査が義務付けられています。

万一、定期検査で不合格となった場合は、不合格のシールを貼られて使用が禁止されます。この場合、修理して検定を受け直すか、新しく更新するか悩むところです。

主な特定計量器の有効期限

ガスメーター	10年
燃料油メーター	7年 * ガソリンスタンド等のメーター
水道メーター	8年
電力量計	10年 * 定格電圧による

質量計 2年毎の定期検査(合格すれば使用継続)

「会員の広場」に、掲載して見ませんか?

このコーナーでは、会員企業の紹介をしております。会社の特徴や業務内容、取扱商品など1000文字程度 の原稿と、製品や施工例、社屋等の画像データを寄稿頂ければ順次掲載させていただきます。ぜひ、自社のPRにご利用下さい。

掲載についての問合せは、事務局または「Libra」編集委員までご連絡下さい。

事務局: 電話03-3434-6591/FAX03-3434-6592
「Libra」編集委員(石井)
電話03-5963-5361/FAX03-5963-5362

貴方の会社を募集中です。
掲載費用は、必要ありません。
ぜひ、自社のPRにご活用
下さい。